

「多世代交流・協生のまちづくりについて」に関する取組例

①各種団体間や世代間の交流と連携の促進

No.	意見内容
1	地域活動に取り組んでいる団体同士の交流会を開催する。
2	校区や単位自治会における成功事例について、情報交換会や事業見学会を実施する。
3	区内の同種の活動グループを集め、多世代交流をテーマにしたワークショップを開催する。
4	多世代交流に取り組んでいる団体同士が交流・連携するための拠点となる場所を充実（既存スペースの活用を含む。）させる。

②多世代交流・協生に資する取組の充実

No.	意見内容
1	防災への取組みは理解もされやすいため、地域の防災訓練に子どもを参画させるなど防災をキーワードに多世代交流を図る。
2	誰もが参加できるようなスポーツを通じた交流と健康増進を図る。
3	幼稚園・保育所・小学校・子ども会での異年齢児の交流促進を図る。
4	成人式終了後に、新成人と恩師の先生、地域の方が交流する「お祝いプログラム」を実施する。
5	イベントの実施に際し、子どもを企画段階から参加させ、多世代交流と協働意識の向上を図る。
6	事業への参加を促進するため、朝市やふれあい喫茶等の身近な事業を体験してもらい、楽しさや面白さを知ってもらう。
7	ワークショップ形式の会議を定着させ、年齢や立場を越えて意見を言える機会を増やすことで、若い世代の参加を呼び込む。

③効果的な情報の発信と共有

No.	意見内容
1	自治会などの地縁型団体やテーマ型市民活動団体がそれぞれの取組情報を共有する。
2	自治連合協議会が校区ごとのホームページを制作し、地域の情報を広く発信する。
3	SNS のアカウントを開設し、区内の多世代交流に関する情報を発信する。
4	地域活動に取り組んでいる団体が SNS を活用して効果的に情報の発信や共有ができるよう講習会等を実施する。

